

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自主防災活動支援事業(美原区)			事業番号	217-010
担当部署名	美原区役所	局		部	自治推進課 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	⑤地域防災力の向上		
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b	
		有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市地域防災計画		
3	事業開始年度	平成 10 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市自主防災組織の育成指導等に関する要綱、堺市自主防災活動助成金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区、地域団体・市民
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	校区自主防災会（6校区）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	大規模災害が発生し、行政機能が低下した場合でも、地域住民が共助により、安全な避難、救出救護、避難所運営が行えるよう、自主防災活動を支援し、地域防災力の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	自主防災組織の更なる活動の活性化と地域防災力の向上を促進させるため、各区や関係機関と連携し、各組織の活動状況や習熟度に応じた防災意識の普及・啓発、防災訓練の実施、講演会の実施等、地域の実情に即した的確な育成・支援を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	校区自主防災会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 自主防災訓練の参加人数	人	目標値	1,300	1,300	1,300		
		実績値	1,580	242			
		達成率	122%	19%			
当該指標を選定した理由		地域住民が主体となり実効的な防災訓練を実施することで、発災時に効果的な自主防災活動が行われ、災害による被害が防止、または軽減されることが考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		大規模な訓練（毎年2校区ずつ）は各450人、その他の校区（4校区）は各100人の参加目標としている					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 防災啓発出前講座実施回数	回	目標値	6	6	6		
		実績値	1	1			
		達成率	17%	17%			
当該指標を選定した理由		市職員が出前講座の実施することで、地域住民の防災意識向上に資すると思われるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		1校区あたり1回、計6校区分を目標としている。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	自主防災活動支援事業(美原区)	事業番号	217-010
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	270	210	345	38	412
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	270	210	345	38	412
14 人件費 (b)	7,650	7,785	7,810	7,810	7,810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,920	7,995	8,155	7,848	8,222

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	自主防災組織活動費助成金	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	300	300	R3	予算		
	需用費	R2	決算	38	38	R2	決算		
		R3	予算	112	112	R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 防災啓発出前講座実施回数	回	1	1
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,557	1,562
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,557,000	1,562,000
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18
- 昨年度に引き続きコロナ禍により、防災訓練や出前講座を実施できなかった校区・地区が多く、Withコロナのもとでの防災活動について、理解が得られにくい状況にあるものと考えられる。
 - 一方で、コロナ禍を踏まえた避難訓練等、実施内容を工夫しながら取り組んだ校区もあり、これらの取り組みを他の校区・地区に拡大させていく必要があると考える。
 - 訓練への参加人数、出前講座実施回数ともに低調であったが、コロナ禍が収束すれば地域の活動が再開され、訓練や講座の数値が回復し、単位当たり経費が低下するものとする。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19
- 自主防災活動支援事業を通じて、地域住民による自主的な防災活動や取り組みを促すことで、自助・共助の力を強化し、地域防災力の向上に寄与できたと考える。